



Governor's Monthly Letter

To Club Presidents and Secretaries of
Rotary International District 260

District 260 R.I. Governor
KOICHI OKUMA

c/o The Nagoya Kanko Hotel
1-19-30 Nishiki, Nakaku, Nagoya, Aichi, Japan 460

Phone: 052-231-7711 (Ext. 527)

国際ロータリー第260地区ガバナー 大隈 孝一

〒460 名古屋市中区錦1丁目19番30号 名古屋観光ホテル内 Phone: 052-231-7711 (内線527)

MANKIND IS ONE
人類はひとつ

Build Bridges of Friendship Throughout the World
世界中に友情の橋をかけよう

IGFはじまる

…ロータリーの原点を考え直す機会にしよう…

ガバナー 大隈 孝一

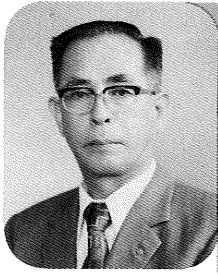
いよいよ、IGFが最盛期をむかえ、各分区代理を中心に、夫々、想をこらして実りある成果をあげつつあります。

例えば、多くのクラブをかかえる分区では、限られた時間内に、如何にして全体の意志を吸収しうるかということで、新しいアイデアを考え出していますし、また各部門別の分科会においても、リーダー、アドバイザーなどの方々がその豊富な見識と熱意で、見事に盛り上がりを見せておられました。恐らく出席された方々も、何物かを得て、有意義な日を過ごされたことと思います。

朝の開会の時には、いささか義務感で集まったものの、一日、俗塵をはなれて、ロータリーや分区の現状と将来についてお互いに語り合い、相互に友情を深めながら、夕刻、散会するときは、ほのぼのとした友愛の情で、手をふりあって再会を期する姿は、出席した者にしかわからぬロータリーの真髄でありましょう。

IGFのマンネリ化が云われる中で、年々歳々、新しい息吹きを感じます。ポール・ハリスのことを引合いに出すまでもなく、“原点にかえる”ことが新しい前進の基本だと思います。そしてそれは、IGFの中からこそ、生まれてくるものだと思います。また、低成長時代には、それなりのアイデアが出てくるものです。

これらの各分区でのIGFの論点を、来たる6月の地区協議会に、是非、反映させて、更に、その成果を高めたいと期待致しております。



南信第二分区IGFについて

南信第2分区代理 久保田元次
ホストクラブ・会長 林 朝 昭

時 昭和58年4月10日(日)10時 点鐘
所 駒ヶ根市 赤穂公民館
ホスト 駒ヶ根ロータリークラブ

南信第2分区のIGFは、大隈孝一ガバナー、奥沢俊一ガバナーノミニーをはじめ、アドバイザーに、原享二、北野幾造両パストガバナーのご臨席をいただいております。

たまたま地方選挙(県議)の当日にあたるので、最遠隔地の方々でも、投票をすませてからご参集いただけるように、10時点鐘にしました。

テーマは、敢て「職業奉仕」1本にしぼり、終始全体会議で行います。

「職業奉仕」はロータリーの基本と言われますが、この考え方の解釈もまた、なかなか難解と言われ、ロータリアン各自がさまざまな考え方をしておられるように思えます。

午前中は、各クラブから指名された6名の会員から「実業人(又は専門職)として、私は、ロ

ータリーで言う“職業奉仕”の考え方を、このように解釈している」のテーマで意見発表を、また2名の会員から「職業奉仕事例」の発表をしていただきます。

午後は「ロータリーで言う“職業奉仕”をどのように解釈し実践すべきか」と「急変しつつある世相の中で“職業奉仕”はどうあるべきか」の2つのテーマで自由討論とします。

考え方の統一や結論を求めるべき会議ではありませんので、大いに**本音**の発言をしていただき、その間にガバナーはじめアドバイザーの方々からご指導をいただきます。

お互いに**本音**で語り合うことによって、ロータリーの思想を学ぶ一助にでもなれば幸いです。

どうぞふるってご参加下さい。



東北信分区のIGFについて

東北信分区代理 矢島 謹一
ホストクラブ・実行委員長 牧 虎 喜

時 昭和58年4月17日(日)
所 中野市 県勤労者福祉センター
ホスト 中野ロータリークラブ

1982年～1983年度の東北信分区のIGFは260地区最北端の中野市に於て、中野ロータリーク

ラブのホストで開催されます。

中野市は不朽の作曲家・中山晋平生誕の地で

文化の香り高い奥信濃の田園都市であり、山の内温泉郷、志賀高原入口の観光都市でもあります。

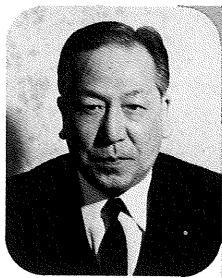
IGFは、もともと近隣都市の数クラブが集まって親睦と討論会を兼ねたもので、余り押付けな堅苦しいものでなく、気楽に開かれる集会であります。分区13クラブの集合はいささか広範囲にわたるきらいがあるので、中野クラブの隣接クラブ、須坂・長野・長野東の三クラブに側面的協力をお願いしました。

会の運びは分科会方式をとり、ロータリーの原点であるクラブ奉仕、特に必要な社会奉仕、最近特に問題の多い青少年育成の青少年問題の

三分科会としました。各分科会のリーダーパネラーは中野クラブの近隣クラブにお願いし、アドバイザーは大隈ガバナー、北野パストガバナー、奥沢ガバナーノミニーをお願いしました。

ロータリー発展の為、多数会員のご参加をお願いし、楽しい意義あるIGFといたしたいと念じております。

尚、登録料は1人5,000円、出席者は1クラブ15名以上（第1分科会：5名以上、第2分科会：5名以上、第3分科会：5名以上）となっております。



南信第一分区IGF開催 にむけて

～豊かに格調高く実りあるIGFを!!～

南信第一分区代理

ホストクラブ・実行委員長

山岸 紫朗
吉江 親正

時 昭和58年4月24日(日)
所 塩尻市総合文化センター
ホスト 塩尻ロータリークラブ

R I 第260地区も、大隈ガバナーにバトンが渡されてはや四分の三期に入り、残すは四分の一期となりました。皆様方には健康に留意され、奉仕活動に邁進されておられることと存じます。

さて、ロータリーも80才を間近に控え、変革期を迎えているのでは……と言われる人もおられます。ロータリーの要諦がデモクラシーとヒューマンイズムであると表明しながら、心の中には権力主義が潜在してはいないでしょうか。又隣人を愛するヒューマン精神が欠けてはいないでしょうか。

そこで、ロータリーを見直しながら新人への教育は勿論ですが、ベテランロータリアンにも良き情報、及び教育の場となることを願って、実りある勉強会であると同時に、楽しい親睦の場も得られるようなIGFを開催できるよう準備を進めております。

当日の内容は、ゼネラルフォーラムの原点にかえり、クラブ奉仕・社会奉仕・職業奉仕・国際奉仕、そして青少年奉仕の五大奉仕部門全てにわたり、討論と協議の場としたいと考えてお

ります。

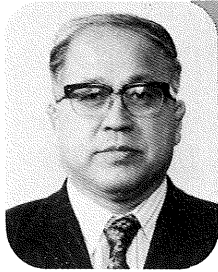
方法については「一クラブ」が「一奉仕部門」を担当し、現在迄の活動で良かった事、或いは現在行なっている最もメインになっている事、又はその事業の企画を含め、予算的にはどうか、参加者の感想はどうか等反省してみて、その事業がどうして成功しなかったのかなどの具体的な失敗例や、今後取り組んでみたいと思われる奉仕活動等を報告、発表のかたちで問題提起をしていただきます。

分区の構成クラブ数は11クラブですので、一奉仕部門について二クラブが担当し、その問題提起を「タタキ台」として出席者全員で意見交換をし、最後にアドバイザー各氏より、御助言をいただき、より良い勉強会にしたいと思えます。

今回のIGFのテキストは、各奉仕部門別に各クラブが経験してきた奉仕事例を列記し、一目瞭然の事例集としてまとめ、今後の参考書又は指針書になればと考えております。勿論区内クラブの全員にお渡しする予定です。

当日は大変な一日になろうと思いますが、皆様方の友情溢れるご協力により、豊かに格調高く実り多いIGFにしたいと念じております。

では4月24日、地方選挙投票日ではありますが、塩尻総合文化センターでお会いしましょう。



三河第一分区IGFについて

三河第一分区代理 宮地 信尚
ホストクラブ・会長 辻村 太郎
幹事 千賀会寿大

時 昭和58年4月29日(金)
所 伊良湖ビューホテル
ホスト 渥美ロータリークラブ

分区内、9クラブの会員資質向上と連帯感を高めるべく、黒潮洗う伊良湖岬に、約250名が集う、IGFが開催されようとしています。現在、分区代理を中心に、ホスト会員が、意義ある集会となるよう、企画の仕上げを急いでおりますが、その中間報告は、以下の通りです。

① 開会のセレモニー

② パネルディスカッション

職業、社会、青少年、国際の各奉仕部門について、分区内に特色ある活動が、実施されている。その事例を取り上げ、新入会員にも理解し易い勉強の場としたい。

③ 文化講演会 小説家 杉浦民平氏

渥美の地に、どっしりと腰を据え、鋭い文明批判を、数々の著作の中で発表されている、

杉浦氏に、地方の心を語って頂く予定。

④ 友情の昼食会

近隣とは言え、一堂に会する数少ないこの機会をとらえ、他クラブの会員との友情を、この場で交流して頂く。

このIGFには、アドバイザーとして、大隈ガバナー、神野・森パストガバナー、奥沢ガバナーノミニーが出席頂ける事となり、畠山(田原)職業、柴田(豊橋南)社会、三高(奥三河)国際、荻野(新城)青少年の各パネリストを中心とした勉強に、素晴らしいアドバイスを賜わる予定です。

4月29日、天皇誕生日の良き日、若葉と黒潮の伊良湖岬でお待ちしております。

書翰あれこれ

㊦ロータリー日本史委員会より

(副委員長 平島健次郎君)

「ロータリー日本60年史」の今までのお申込みは約7,000でございまして、損益分岐点である17,000部には程遠い状況にあります。つきましては今までにお申込みのないクラブは勿論、ロータリアン各位にご購入をお願いしたいと思います。(要旨のみ)

㊦R.I.より

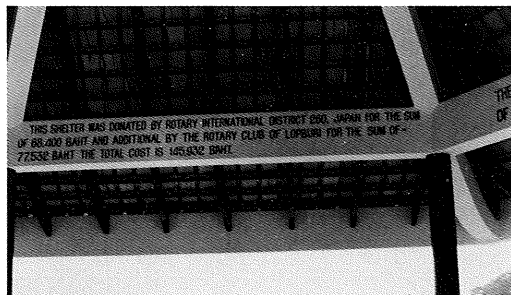
向笠広次会長のテーマ、「人類はひとつ——世界中に友情の橋をかけよう」に基づいた交換学

生エッセー・コンテストに対し、応募作品を送り下さいましてお礼申し上げます。地区の代表作として当選されました交換学生の方に心からの祝辞をお送りいたしますと共に、地区レベルにおいてこのエッセー・コンテストにご応募下さった学生の方々にも厚くお礼申し上げます。地区内の交換学生に向笠会長のテーマについて熟考し、見解を発表する機会を与える事により交換学生の体験を更に豊かなものとされ、また本年度、ロータリーの目標の達成に計り知れない程の貢献をされたのであります。

(要旨のみ)

☐タイ国ロップバリ－R.C.より

1981～82年度世界社会奉仕活動事業の一つとして、第260地区よりロップバリ－R.C.に3,000\$の寄附を戴き、お蔭で写真の様な立派な憩いの場が誕生しました。心から感謝します、という礼状が届きました。



☐財団奨学生より

(竹沢 幸一君)

Georgiaでの語学研修を終えた後、ここUniversity of WashingtonのあるSeattleにやって来て、はや4ヶ月以上がまたたく間に過ぎ去ってしまいました。

こちらに来て、SeattleのRotaryの方々にはいろいろとお世話になっています。特にHost FamilyであるMr. & Mrs. Cottinghamにはとても親切にいただき、心から感謝しております。

Rotaryの会合では、時々思いもよらないことが起こるもので、ある会合で私の隣りに座った紳士がニュージーランドの元首相だったのには本当に驚きました。また、ここSeattleは日系人や日本人が多く、Rotaryの会合でも、日本人の方や奥さんが日本人で、日本語を流ちょうにしゃべるRotarianの方と会うことも度々です。Host Rotary Club以外のクラブからも招待され、今でもまだたどたどしい英語でスピーチをさせていただく機会も得ました。

今後は度々こちらの報告をするよう努めますので、よろしくご指導をお願い致します。

(要旨のみ)



1983～84年度派遣財団留学生 オリエンテーション開かる

去る1月6日、キャッスルプラザに於いて、今秋海外に留学する7名のオリエンテーションが行われました。昨年の留学生4名の出席を求め、留学中の色々注意する点などの発表があり、委員としては鮎谷財団委員長、酒井、浅野副委員長、鈴木委員の他に学友会千村委員長も同窓会の組織などにつき説明をされました。



トロント国際大会に参加しましょう!

世界中で既に4,000名余のロータリアン及びゲストの方々が「トロントへ行きます」と申込んでおられます。登録申込書は、4月15日までの消印のあるものに限り、基本料金US\$85.00より\$10.00が引きされます。

大会でのプログラムは、「核戦争とそれに対処する医学界の能力」「麻薬の弊害」「不況時代における国際関係」「世界を通じての保健と栄養の必要性」です。また、一流の講演者、討論の機会、豪華なカナダの余興番組、家族ぐるみの交歓などがロータリアンをお待ちしています。

尚、ガバナー・ノミニ－昼食会は次期クラブ会長の昼食会と合同で6月7日(火)に催されます。また、この日には現任及び元R.I.役員の懇親昼食会も開かれます。ポール・ハリス・フェローの昼食会は6月5日(日)です。

1983年4月1日より
ドル・円換算レート 240円
になります。

●1984～85年度

ロータリー財団奨学生選考委員決まる

ガバナー	大隈孝一	名古屋
ロータリー財団委員長	鮎谷賢太郎	名古屋
パストガバナー	北野幾造	長野
ガバナーノミニ	奥沢俊一	松本南
財団奨学金小委員長	小山福松	名古屋和合
財団奨学金委員	高沢隆	豊橋
財団奨学金委員	ヨハネス・ヒルシマイヤ	名古屋東
財団奨学金委員	牧野達郎	常滑
財団奨学金委員	木村武夫	飯田南
財団奨学金委員	春日善文	長野
財団学友会小委員長	千村幸男	名古屋西
他に語学担当	南山大学に委嘱	

●豪州、カナダ、アメリカへ3月に派遣される学生の受入れロータリークラブが決定

氏名	クラブ	ホストクラブ
辻 摂子	名古屋西	BOTANY D. 975 豪ニューサウスウェールズ州
堀部明子	木曾	CARINGBAH D. 975 豪ニューサウスウェールズ州
兵藤仁美	高浜	ONLEY D. 952 豪南オーストラリア州
田中宏光	長野	IPSWICH D. 963 豪クイーンズランド州
鋸持基子	長野東	SELKIRK D. 555 加マニトバ州
奥田 誠	安城	SASKATOON NORTH D. 555 加サスカチュワン州
伊藤実知子	東海	STRATFORD D. 633 加オンタリオ州
稲葉匡信	半田	GOLDEN VALLEY D. 595 米ミネソタ州
児玉敏子	大町	CANNON FALLS D. 595 米ミネソタ州
加藤孝良	佐久	ROSELAND D. 654 米インディアナ州

松の緑を守ろう



松枯病はますます猛威をふるい、愛知県は大被害を受け、関係当局の懸命な努力にもかかわらず、長野県木曽の南部に侵入し、最近、県の中心部の篠の井に発生しました。

松枯病は、明治38年に長崎で発生し、だんだん蔓延したのですが、昭和47年にその原因がマツノザイセンチュウという体長1mm弱、太さ0.02mm(頭髪のすくらい)の肉眼では見えない虫で、マツノマダラカミキリという体長約3cmの虫が媒介することが突きとめられました。(1匹のカミキリがセンチュウ1万～1万5千を持っているといわれる)

おかされた松を救うことは至難ですが、原因が突きとめられていますので未然に防ぐことはできますし、我々にもそのお手伝いができますからご協力下さい。

地区奉仕委員会 久保田元次
社会奉仕委員

○赤く枯れた松か、マツノマダラカミキリを見したら、すぐ市町村の林務課へ通報して下さい。

○松枯病の枯損木はすぐ焼却して下さい。移動厳禁です。(切り屑でも)

媒体のカミキリは、3.5km半径くらいしか飛ばないのに、沖繩へは万博の用材に混入して持ち込まれ、長野県の篠の井の発生も同様と見られ、割り箸が持ち込んだ例もあります。いずれも人災ともいえます。

○松の緑を守る世論を湧きたたせて下さい。

防ぐには水際作戦が大切で、薬剤散布その他のことは当局が行いますが、その作業を、被害の少ないうちに徹底的に推進するには、世論の応援が力となります。

社団法人日本の緑を守る会はこうした運動を全国的に展開しており、各地の元R.I.理事やパストガバナーが理事などを務めておられ、当地区では原、田辺両パストガバナーが活躍しておられます。心ある方々のご入会をおすすめします。

米山奨学会特別寄附報告

日付	クラブ名	金額	日付	クラブ名	金額	日付	クラブ名	金額
1/5	岡崎東	11,245円	1/29	西尾	17名 390,000円	2/12	名古屋名東	1名 100,000円
14	上田	14,250円	2/1	佐久	55,500円	12	名古屋瑞穂	1名 300,000円
17	上田東	12,250円	1	名古屋南	1名 30,000円	17	名古屋名北	1名 300,000円
19	常滑	1名 300,000円	1	岡崎	1名 20,000円	3~18	東知多	101,184円
20	あま	1名 30,000円	8	一色	1名 20,000円	18	豊橋北	1名 30,000円
26	名古屋南	6名 60,000円	8	岡崎	2名 20,000円	22	飯島	1名 50,000円
27	あま	1名 30,000円	8	豊田東	5名 110,000円			

昭和58年2月度

分區別会員数及び出席率

昭和58年2月28日現在

分 区	クラブ名	会員 数	出席 率	例 会 数	前会 員 月 数	増 減
尾 張 第 一 分 区	半 田	62	96.69	4	63	－ 1
	半 田 南	44	99.40	4	44	0
	東 知 多	46	95.45	4	47	－ 1
	名 古 屋	217	95.41	4	215	＋ 2
	名 古 屋 東	93	99.43	4	94	－ 1
	名 古 屋 北	98	100.00	3	98	0
	名古屋北北	51	100.00	4	51	0
	名古屋名東	54	100.00	4	54	0
	名古屋南	118	99.76	4	118	0
	名古屋港	104	99.67	3	103	＋ 1
	名古屋瑞穂	60	100.00	4	56	＋ 4
	名古屋守山	79	99.36	4	80	－ 1
	名古屋中	97	98.92	4	97	0
	名古屋西	141	98.50	4	141	0
	名古屋東南	83	100.00	4	83	0
	名古屋和合	75	100.00	4	73	＋ 2
	東 海	51	95.10	4	51	0
	常 滑	58	97.04	3	58	0
	名古屋千種	48	97.91	4	45	＋ 3
	19C	1,579			1,571	＋ 8
尾 張 第 二 分 区	あ ま	71	99.65	4	72	－ 1
	尾 西	55	97.50	4	55	0
	一 宮	83	98.73	4	83	0
	一 宮 北	74	99.54	3	76	－ 2
	稲 沢	53	100.00	4	53	0
	犬 山	74	100.00	4	74	0
	岩 倉	30	99.17	4	30	0
	春 日 井	80	100.00	3	80	0
	小 牧	63	100.00	4	63	0
	江 南	64	99.62	4	66	－ 2
	名古屋空港	67	99.24	4	66	＋ 1
	西春日井	69	98.18	4	69	0
	尾 張 旭	47	100.00	3	46	＋ 1
	瀬 戸	75	98.67	4	75	0
	瀬 戸 北	52	99.52	4	52	0
	津 島	71	100.00	3	71	0
	16C	1,028			1,031	－ 3
三 河 第 一 分 区	渥 美	57	89.03	4	57	0
	蒲 郡	72	92.70	4	71	＋ 1
	奥 三 河	51	88.24	4	51	0
	新 城	47	97.87	3	47	0
	田 原	66	96.97	3	66	0
	豊 橋	112	99.51	4	113	－ 1
	豊 橋 北	97	99.44	4	97	0
	豊 橋 南	67	99.22	4	67	0
	豊 川	78	97.31	4	78	0
	9C	647			647	0

分 区	クラブ名	会員 数	出席 率	例 会 数	前会 員 月 数	増 減
三 河 第 二 分 区	安 城	72	100.00	3	72	0
	碧 南	69	98.85	4	69	0
	一 色	56	87.50	4	56	0
	刈 谷	83	99.65	4	84	－ 1
	西 尾	75	98.56	4	72	＋ 3
	岡 崎	88	100.00	4	90	－ 2
	岡 崎 東	60	96.92	4	60	0
	岡 崎 南	78	100.00	3	77	＋ 1
	高 浜	42	96.92	4	43	－ 1
	豊 田	87	99.70	4	85	＋ 2
東 北 信 分 区	豊 田 東	52	99.50	4	52	0
	豊 田 西	73	98.95	4	74	－ 1
	12C	835			834	＋ 1
	軽 井 沢	40	99.34	4	38	＋ 2
	小 諸	55	91.97	3	55	0
	丸 子	40	89.38	4	40	0
	南 佐 久	27	90.74	4	27	0
	長 野	92	95.75	4	92	0
	長 野 東	73	95.21	4	73	0
	長 野 南	33	96.90	4	33	0
南 信 第 一 分 区	中 野	47	89.89	4	47	0
	佐 久 坂	36	96.75	4	36	0
	須 坂	42	96.70	3	42	0
	戸倉上山田	38	92.11	3	38	0
	上 田	58	93.75	4	57	＋ 1
	上 田 東	49	96.87	4	49	0
	13C	630			627	＋ 3
	茅 野	26	85.00	4	26	0
	富 士 見	32	74.22	4	32	0
	白 馬	41	91.87	4	41	0
南 信 第 二 分 区	木 曾	48	88.89	4	48	0
	松 本	74	97.06	4	74	0
	松 本 南	77	100.00	4	79	－ 2
	松 本 西	49	98.98	4	49	0
	岡 谷	59	95.40	4	60	－ 1
	大 町	59	96.13	4	60	－ 1
	塩 尻	40	98.30	3	38	＋ 2
	諏 訪	61	95.00	3	61	0
	11C	566			568	－ 2
	飯 田	82	100.00	4	83	－ 1
計	飯 田 南	73	100.00	3	74	－ 1
	飯 島	35	100.00	4	35	0
	飯 伊 那	82	99.32	4	82	0
	駒 ケ 根	59	100.00	4	59	0
	松 川	52	97.44	4	52	0
	箕 輪	31	95.70	3	31	0
	箕 辰	48	100.00	4	48	0
	8C	462			464	－ 2
	88 クラ ブ	5,747			5,742	＋ 5

地区ニュース

★国際ロータリー第260地区

1982～83年度 第5回諮問委員会

日時 昭和58年3月12日(土) 11:30～14:30

場所 名鉄グランドホテル12階 菊の間

議題 1、1983～84年度地区組織並びに人事に関する件

2、1983～84年度地区予算に関する件

3、青少年委員会報告

4、1982～83年度地区協議会に関する件

5、1983～84年度地区大会に関する件

6、奥沢G.N.報告

7、その他

★一宮北R.C.

創立20周年記念として、3月13日(日)ロータリー財団に金一封、米山奨学会に金一封、一宮市に救急車一台、木曽川町に演台一基を各々贈呈した。

おめでとう

ポール・ハリス・フェロー

12月20日	小林 益三君	(小 諸)
12月20日	小山 昂君	(小 諸)
1月11日	斉田 竹二君	(常 滑)
1月26日	塚田 俊之君	(長 野)
1月26日	河村 嘉男君	(小 牧)
2月4日	小野 光男君	(豊 川)
2月7日	小出 茂夫君	(名古屋南)
2月10日	塚田 武司君	(長 野)
2月21日	江上 薫君	(津 島)
2月25日	荻巢 賢一君	(名古屋中)
2月25日	久能木真人君	(名古屋中)
2月25日	錦見 忠篤君	(名古屋中)
2月25日	神戸 政治君	(あ ま)

計 報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

2月13日	長谷川一善君	(江 南)
2月17日	飯味 正三君	(名古屋港)
2月22日	岡本 清纓君	(名古屋東)
2月22日	岡部 快芳君	(あ ま)
2月25日	中村 正夫君	(名古屋南)

お知らせ

◎台湾の元米山奨学生が同窓会を結成

- (1) 台湾における元米山奨学生の同窓会は、これまで非公式なものがいくつかあったが、このたびR.I.第345地区ガバナーの下部組織として一つにまとまり、名称を「扶輪米山会」として再スタートした。

その結成式が、1983年1月16日台北市で盛大に開催され、定款承認、役員選任の後和やかに交換パーティーが行われた。

出席者

日本側	米山記念奨学会	湯浅理事長
	〃	増田常務理事
	〃	黒沢監事
	〃	南郷主事
東京国立R.C.	山井会長	

台湾側 李傳滄パストガバナー('80～'81)
(R.I.第345地区・李超然ガバナーは会議出席のため不在につき代理として)

多数のロータリアン

台湾の有力者

元米山奨学生 約80名

- (2) 台湾の文部省及び中日友好会は、米山奨学会が多数の台湾留学生に奨学金を支給していることを高く評価し、1月17日に文部次官及び中日友好会会長が、湯浅理事長に対し、丁重に謝意を表した。
- (3) 中国文化大学の中華学院はこれを機に、特に湯浅理事長に名誉哲学博士の称号を贈って、米山奨学事業におけるその功績を顕彰した。

橋シリーズ⑩ (ターゲットに因んで橋の写真を連載します)

こやばし 天竜峡「姑射橋」



国定公園天竜峡の仙境に架けられた姑射橋は、「雲消開翠壑、崇岫夕陽遙、猶認神仙蹟、架空姑射橋」とその昔から詠われ、親しまれて参りました。天竜峡を訪れた人々は必ず姑射橋上より仙境を眺められ、幽佳の境に驚歎されます。

(飯田南R.C.提供)